

令和5年（2023）2月 21日

令和4年度（2022）

第6回出雲市議会(定例会)

施政方針質問通告一覧表

令和4年度（2022）第6回出雲市議会（定例会）
施政方針質問通告一覧表 目次

2月21日（火） 10:00開会			
順 番	会 派 名	議 員 氏 名	ペ ー ジ
1	真 誠 ク ラ ブ	児 玉 俊 雄	3、4
2	平 成 ク ラ ブ	宮 本 享	5
3	政 雲 ク ラ ブ	本 田 一 勇	6、7
4	公 明 党	錦 織 稔	8、9
5	日 本 共 産 党	吉 井 安 見	10、11

質問者	12 真誠クラブ 児玉 俊雄
-----	----------------

質問事項・質問内容

(1) 所信について

- ① 出雲市総合振興計画「出雲新話2030」について伺う。
- ア あらためて、「出雲力」とは何を指すのか、そして市長の「出雲力」に寄せる思いを伺います。
 - イ 地域経済の発展の礎となる「市内総生産」を引き上げるとありますが、その目標値の設定について伺います。
 - ウ 「出雲新話2030」に対する市長の自己採点は何点なのか伺います。
 - エ 地区別のまちづくり像にもう少し踏み込んでほしかったと思っています。新年度に取り組みようとしている地区のまちづくりビジョン策定の支援を全地区に拡げ、地区別のまちづくり像としてまとめるような考えはないか伺います。
 - オ 昨年度、総合振興計画の策定作業が始まってからも多くの個別計画が策定され、今議会にもいくつかの計画の報告が予定されていますが、最上位計画とそれらの計画との整合性にどのような配慮をされたか伺います。
 - カ 総合振興計画に盛り込まれた重点事項の予算配分の考え方を伺います。
- ② 新型コロナウイルス感染症の5類感染症移行後の地域力回復策について伺う。
- ア コロナ禍によって希薄になった地域のつながりを再構築し、中止・縮小された多くの地域行事などを復活させるなど、地域力を回復させるためにどのような施策が考えられるのか伺います。

(2) 市政運営のポイント「社会経済活動の再生と、更なるステップアップに向けた取組」について

- ① インバウンド対策について伺う。
- ア インバウンド対策として組織強化も予定されており、今後の交流人口・関係人口の拡大に期待を寄せていますが、市単独の推進策には限界があります。
中海・宍道湖・大山圏域市長会や広域観光団体での共同事業とうまく組み合わせる必要があると考えますが、現状と今後の進め方を伺います。

(3) 市政運営のポイント「人口減少対策と中山間地域振興」について

- ① 少子化対策について伺う。
- ア 少子化対策は施政方針で述べられたとおり、喫緊の課題であり、岸田首相も次元の異なる少子化対策を打ち出すと表明されました。本市においても様々な取組がなされていますが、異次元の対策の必要性について市長の考えを伺います。
 - イ 子ども医療費助成の対象を中学生の通院費にも拡大されるということですが、予想される通年ベースの事業費と財源を伺います。
- ② 中山間地域対策について
- ア 中山間地域対策として、大学や企業と連携し、フィールドワークやワーケーションの取組を推進されるとのことですが、具体的にどのようなスキームになるのか伺います。

イ 昨年度から「未来につなぐ中山間地域道路環境整備事業」が始まったのは画期的なことだと思っておりますが、これまでの実績と増額の考えを伺います。

(4) 市政運営のポイント「脱炭素社会、環境保全への取組」について

① 「ゼロカーボンシティ出雲」について伺う。

ア 「ゼロカーボンシティ出雲」の実現には市民の理解と協力が不可欠であり、市長が目指す将来像を十分アピールし、市民と共有する必要があると考えますが所見を伺います。

② 再生可能エネルギーの促進について伺う。

ア 再生可能エネルギーの導入促進のため各種施策が拡充されていますが、電気代の高騰対策と併せた施策として、住宅用太陽光発電設備、蓄電池設備に対する補助をさらに拡充する考えがないか伺います。

(5) 主要施策・主要事業「ともに創る」について

① 「海・山・大地の恵みを生かす」について伺う。

ア 「地域計画・目標地図」の策定に取り組むとされていますが、制度の概要と市の取組方針を伺います。

イ 循環型林業の実現に向けての新規事業として「再造林推進事業」が計画されていますが、その概要を伺います。

(6) 主要施策・主要事業「ともに支える」について

① 出雲のインフラを整え「安心」を支えるについて伺う。

ア 一畑電車への支援が引き続き挙げられていますが、上下分離方式の支援に変わってからも、既に15年が経過しています。一畑電車の今後の展望をどのように考えられているのか伺います。

② デジタルの力で未来をデザインについて伺う。

ア デジタルファーストの推進には、まず裾野の拡大が必要だと考えていますが、来年度からの高齢者向けスマホ教室の具体的な内容を伺います。

(7) 組織・機構の改革について

① 部の再編について伺う。

ア 部の増やプロジェクト推進室の設置は組織に垣根ができてしまう怖れがありますが、各部署の連携への考え方を伺います。

② 「環境エネルギー部」について伺う。

ア 地域環境部の組織改革は名称変更だけか伺います。

③ 「プロジェクト推進室」について伺う。

ア プロジェクト推進室はとりあえず何をするのか、またどのような形で人員配置されるのか伺います。

質問者	29 平成クラブ 宮本 享
質問事項・質問内容	
(1) 市政運営のポイント「社会経済活動の再生と、更なるステップアップに向けた取組」について	
<p>① 新たな観光戦略「～出雲力で地域と人が輝く～持続可能な観光地域づくり」について</p> <p>ア 具体的な観光振興施策、インバウンド対策</p> <p>イ SNS「izumo365」（仮称）の具体的な内容と仕組み、その他の情報発信の手段、方法</p> <p>ウ 関係機関との連携の強化</p> <p>エ 市民や議会、関係者の意見の反映</p> <p>オ 戦略のスケジュール</p>	
(2) 市政運営のポイント「脱炭素社会、環境保全への取組」について	
<p>① ゼロカーボンシティ出雲の実現について</p> <p>ア ゼロカーボンシティ出雲の実現に向けて、2030年のCO₂排出量削減のチャレンジ目標46%へのロードマップと市長の意気込み及び市民・事業者への啓発活動</p> <p>② トキをシンボルとしたまちづくりについて</p> <p>ア トキをシンボルとしたまちづくりに向けての体制、取組の具体的な方向性、市民の理解を深めるための情報発信</p>	
(3) 主要施策・主要事業「ともに結ぶ」について	
<p>① 「ヒト、モノ、コトを短時間でつなぐ」について</p> <p>ア 出雲縁結び空港の利用促進</p> <p>イ スマートインターチェンジの整備に向けた取組</p>	
(4) 主要施策・主要事業「ともに支える」について	
<p>① 「出雲のインフラを整え『安心』を支える」について</p> <p>ア 中心市街地における公共用地の有効活用</p> <p>イ 出雲市地域公共交通計画におけるデマンド交通の検討と実証実験、他地域への広がり</p>	
(5) 主要施策・主要事業「ともに楽しむ」について	
<p>① 「スポーツで元気な出雲を」について</p> <p>ア 国民スポーツ大会の準備状況と今後のスケジュール、選手育成の方針</p> <p>イ 新体育館の開館に向けての準備状況、今後のスケジュール、開館後の利活用の工夫</p>	

質問者	14 政雲クラブ 本田 一勇
質問事項・質問内容	
(1) 所信について	
<p>① 国内外の動向に迅速に対応すると述べられていますが、エネルギーや資材高騰の対策はあるか</p> <p>ア 令和5年度当初予算案に、出雲農業未来の懸け橋事業の畜産振興事業が、2300万円だが、これ以外の緊急対策について伺います。</p>	
(2) 市政運営のポイント	
<p>① 子育てするなら出雲とは</p> <p>ア 具体的にどのような戦略か。またどのような手段で実現するか。</p> <p>② Tech Hub Izumo (テック ハブ イズモ) とは</p> <p>ア 簡単にお答えください。</p>	
(3) とともに創る・ともに守る	
<p>① 有機農業の普及促進のための調査・研究とは</p> <p>ア 現時点では何が必要か。また具体的にはどのような視点で調査、研究をするのか。生産者サイド・販売者サイド、又は消費者サイドなのか。</p> <p>イ アグリビジネススクールや未来の懸け橋事業等、積極的なところを評価します。例えば、問題になっている作業場の確保はどのような対策をお考えか。</p> <p>② 出雲のブランド力で価値を高めるとは</p> <p>ア 具体的にはどのような営業をするのか。</p> <p>③ 「NPO法人ミライビジネスいずも」とは</p> <p>ア 地場企業を支える活動とは具体的にはどのようにするのか。体制はどうなるのか。出雲市職員は引き続き出向するのか。</p> <p>④ 市街地の浸水対策は</p> <p>ア 具体的にはどうするのか。</p> <p>⑤ PPAモデル事業とは</p> <p>ア 簡単にお答えください。</p> <p>⑥ COOL CHOICE (クールチョイス) とは</p> <p>ア 簡単にお答えください。</p>	
(4) とともに結ぶ	
<p>① メタバース婚活とは</p> <p>ア 具体的にはどのような内容か。簡単にお答えください。</p> <p>② 神話の縁結びかみがたりネットワークとは</p> <p>ア 具体的にはどのような内容か。簡単にお答えください。</p> <p>③ 灯台ワールドサミットについて</p>	

ア 合わせてイベントを開催する計画はありませんか。

④ 田儀櫻井家たたら製鉄遺跡について

ア ガイダンス施設整備に合わせてイベントを開催する計画はありませんか。

(5) ともに支える

① 児童クラブについて

ア 人材確保がますます困難になると想定されるが、社会福祉法人など民間へ委託できることなども考える必要があるのではないか。

② 包括的に相談を受け止める

ア 具体的な体制作りは。

③ 都市計画マスタープランの策定の着手について

ア 具体的にはどのような計画で進めるのか。簡単にお答えください。

(6) ともに育む

① 不登校対策は

ア 具体的にはどのような内容か。

② 学校施設の整備、人口増加地域の教室不足対策は

ア 具体的にはどのような内容か。

③ 市から自治会等への業務負担軽減は

ア 具体的にはどのようなお考えか。
全庁的見直しの内容・理由について伺います。

(7) ともに楽しむ

① スポーツで元気な出雲を

ア 2022ワールドカップの時に日本が一つになった記憶は、まだまだ脳裏に残っています。出雲がスポーツで一つになるようなアイデアがあればお示しください。

② 「日本の心のふるさと出雲」応援寄付事業における商品開発の専門家による支援とは

ア 具体的にはどのような事を望んでいるのか。
専門家の費用は。また本年度のふるさと納税額を教えてください。

質問者	13 公明党 錦織 稔
-----	-------------

質問事項・質問内容

(1) 所信について

- ① 市民の皆様との対話について伺います。
 - ア 市長に就任されてから今日まで、市民の皆様との対話をどのように進めてこられたか。また、対話で得られたことをどう市政に反映されるのか伺います。
- ② 「選ばれるまち」について伺います。
 - ア 誘致から「選ばれるまち」へと市政を進めてこられ、選ばれるまちへ変化しつつあると実感されていますか。

(2) 市政運営のポイント

- ① 「子育てするなら出雲で」について伺います。
 - ア 子ども医療費助成が、本年10月から新たに拡充を提案されていますが、そのほか他市にはない本市ならではの施策はありますか。
 - イ 子どもの立場から「出雲でよかった」と思える子育て環境はどのようなものと考えますか。
- ② 義務教育の充実について伺います。
 - ア 市民ニーズの一番目は「義務教育の充実」です。ニーズをどのように受け止めておられますか。そこにどのような課題があると考えますか。課題解決にむけて考えを伺います。
- ③ デジタルファーストの推進について
 - ア 「書かない窓口」の実現への行程を伺います。

(3) 「ともに創る」について

- ① 海・山・大地の恵みを生かすについて伺います。
 - ア スマート農業は大規模面積の耕作に利点があると考えます。しかし、対応する農業機械は高額であり、普及拡大の対象となる地域は限られてくると思われます。普及の見通しを伺います。
 - イ 全国的に有機農業は注目されていますが、面積に占める割合は0.6%程度です。有機農業の普及促進の調査・研究の内容を伺います。
 - ウ 水産振興は漁業者の減少、天然資源の減少などで厳しさを増しています。今後の漁獲高、漁獲量の推移をどう予測されていますか。また、ブランド化に必要な要素を伺います。
- ② 出雲の「ブランド力」で価値を高めるについて伺います。
 - ア 全国的に牛肉のブランド化は激戦となっています。しまね和牛、さらに出雲産ブランドをどのように作り上げていくのか。情報発信の強化の内容を伺います。

(4) 「ともに守る」について

- ① 誰もが「安全・安心」に暮らせるまちについて伺います。
 - ア 分散型備蓄倉庫の構築はどの程度進んでいるのか。集中型備蓄倉庫の役割はどこが担いますか。
 - イ 地区別パンフレット配布の進捗、広域避難計画の他市他県と受け入れの調整はできていますか。
- ② 未来に向けた脱炭素社会へのチャレンジについて伺います。
 - ア トキの野生復帰へ向けて、農業者の理解が必要です。特に稲作農家の協力なしには困難です。どの程度進んでいますか。他市の理解を得られていますか。

(5) 「ともに結ぶ」について

- ① 期待（来たい）が膨らむ観光のまち出雲について伺います。
 - ア ロイヤルカスタマーに期待すること。
- ② 「住みたい」、「住み続けたい」の縁結びについて伺います。
 - ア 「お試し居住助成金」の制度の内容を伺います。
- ③ あのまち・このまち 出雲を結ぶについて伺います。
 - ア これまでの国際交流の取り組み内容と成果を伺います。

(6) 「ともに支える」について

- ① 「産みたい」「育てたい」を応援について伺います。
 - ア ヤングケアラーの相談体制、支援体制整備の概要を伺います。
- ② 地域とともに持続可能な中山間地域をについて伺います。
 - ア 中山間地域等直接支払交付金や多面的機能支払交付金の取組組織に対して、組織の広域化や事務委託の導入の課題と利点を伺います。

(7) 「ともに育む」について

- ① 家庭・地域・学校で育む出雲の教育をについて伺います。
 - ア 学校給食は物価高騰による影響を大きく受けていると考えます。栄養価はもちろん美味しい給食が提供できますか。
 - イ 地産の食材を安定的に提供するには何が必要と考えますか。

質問者	1 日本共産党 吉井 安見
質問事項・質問内容	
(1) 新型コロナ対策の継続を	
<p>① 新型コロナ対策について</p> <p>ア 政府は、今年5月から新型コロナウイルス感染症をインフルエンザと同様の5類感染症に移行する方針を示した。しかし、新型コロナ感染症の収束は見通せず、公的支援の継続が必要である。</p> <p style="margin-left: 2em;">a 不安やためらいなく検査ができ、適切な医療をうけられるよう体制を強化すべきと考えるが、所見を伺う。</p> <p style="margin-left: 2em;">b 医療・福祉の現場などへの継続的な支援が求められているが、認識を伺う。</p>	
(2) 安全・安心な出雲市を	
<p>① 原子力防災について</p> <p>ア 岸田政権は、危険な老朽原発を使い続け、原発の新增設をすすめる「原発回帰」の方針転換を行った。</p> <p style="margin-left: 2em;">a 原発の運転期間が延長されれば重大事故などの危険性が高まると考えるが、市の認識を伺う。</p> <p style="margin-left: 2em;">b 再生可能エネルギーを普及し、エネルギーの地産地消を進めるためにも、再稼働や新增設は中止すべきと考えるが、所見を伺う。</p> <p>② 出雲駐屯地の増員計画について</p> <p>ア 出雲市が行う国や島根県への要望の中にも駐屯地の強化が盛り込まれてきたが、今回の増員計画は市が要望していた通りの計画なのか、認識を伺う。</p> <p>イ 駐屯地の強化・拡大が行われていけば危険性が高まるのではないかと不安の声があるが、認識を伺う。</p>	
(3) 防災・減災対策の推進を	
<p>① 防災・減災対策について</p> <p>ア 2021年夏に発生した豪雨災害からの復旧の現状について、伺う。</p> <p>イ 市内の災害要対策箇所の整備率について、伺う。</p>	
(4) くらし・経営支える市政に	
<p>① 物価高騰対策について</p> <p>ア 深刻な物価高騰が市民生活や市内事業者の経営に大きな影響を与えている。電気・ガス、食料品などの値上がりに対し切実な声があがっており、抜本的な支援が求められている。</p> <p style="margin-left: 2em;">a 市民のくらし、事業者の経営の現状をどのように認識しているのか、市長の所見を伺う。</p>	

- b 世界の国々でも、付加価値税などを引き下げ、負担の軽減が図られている。消費税を緊急に5%に引き下げることが抜本的な物価高騰対策につながると考えるが、市長の認識を伺う。
- c 10月から始まるインボイス（適格請求書）制度は、免税事業者に事務的負担だけでなく、経済的にも多大な負担をもたらすものです。市として影響を調査し、国に対して中止を求めるべきと考えるが、認識を伺う。
- d 電気、ガス料金などの負担軽減を求める声があるが、LPガスの負担軽減に関する施策の現状を伺う。
- e 物価上昇が賃金の上昇をはるかに上回っており、労働者世代にとっても物価高騰は深刻である。市内事業者が賃上げを行えるような支援が必要と考えるが、所見を伺う。
- f 下水道使用料の見直しを表明されたが、市民に負担増とならないよう市として手立てを取ることを求めるが、所見を伺う。

(5) 子育て支援の強化を

① 子育て支援について

- ア 子どもの医療費助成を中学校卒業まで無料へと拡充することを求めるが、所見を伺う。
- イ 中学校卒業までの医療費を無料にした場合の必要な予算はいくらか。
- ウ 義務教育の無償化の実現のために、小中学校の給食費の無償化を求めるが、所見を伺う。

(6) ジェンダー平等の実践を

① 「多様な性に関する人権」について

- ア 島根県はパートナーシップ制度の検討を始めることを発表したが、出雲市としての考えを伺う。
- イ 制服が指定されている学校では、性別により服装が決められてきた。学校が指定する制服にも多様性が必要と考えるが、市内小中学校での導入や議論の現状について伺う。